

委 託 業 務 処 理 要 領 (案)

第1 目的

この要領は、北海道（以下、「委託者」という。）が受託者に委託する令和8年度（2026年度）HOKKAIDO WOOD 販路拡大事業委託業務（以下、「業務」という。）の処理について、必要な事項を定めることを目的とし、業務の実施にあたり受託者は本要領に従い実施すること。

第2 委託業務内容

HOKKAIDO WOOD ブランドを活用した道産木材製品の販路及び認知の拡大のため、道産木材製品販路拡大協議会（以下、「販拡協議会」という。）の事務局として道が実施する次の1～3の事業に係る業務を委託する。

- 1 販拡協議会の運営
- 2 首都圏展示会へのブース出展と運営
 - (1) 家具・雑貨系展示会への出展
 - (2) 建材系展示会への出展
- 3 ブランド戦略
 - (1) SNS を活用した情報発信
 - (2) ホームページを活用した情報発信
 - (3) デジタルスタンプラリーの実施と運営

なお、HOKKAIDO WOOD とは委託者である道や、道内民間企業等の委員で構成する販拡協議会が管理・運営する道産木材製品を表すブランドであり、北海道産の木材を活用した各種木製品の販路を拡大するための取組の一つとして、令和元年度にスタートしたものである。HOKKAIDO WOOD のブランドイメージ、ロゴマーク、登録メンバー（非公開希望者を除く）、過去の取組等の情報については、公式ホームページ（<https://hokkaidowood.com/>）を参照し、本業務の実施にあたって理解参考にすること。

第3 仕様

1 販拡協議会の運営

道産木材製品の販路を拡大するため、販路拡大に関する取組や認知拡大に関する情報共有・意見交換を行う協議会の会合を開催する。販拡協議会の構成は別に定める規約等に基づくものとする。

(1) 業務内容

受託者は、販拡協議会の事務局として、事前の日程調整、連絡調整、会場の確保、会議資料の作成（出展者から徴する出展料等に係る決算書を含む）、司会進行、議事録及び議事概要の作成等を担当する。

会議資料の作成にあたっては、事前に議案となり得る課題等を精査し、内容について委託者と協議し決定すること。

(2) 実施内容

① 開催回数

2回を目安とするが、回数の増減を妨げるものではなく、委託者との協議により、決定するものとする。

② 開催場所・日時

道の会議室での開催を基本とするが（使用料は無料）、委託者と協議の上、受託者が用

意するその他の会場も使用することができる。日程案を以下に示すが、可能な限り、委員等が多く参加しやすい場所・日時となるよう務め、最終設定については、委託者と協議すること。

ア 第1回 令和8年(2026年)7月中旬

イ 第2回 令和9年(2027年)2月中旬

(3) 委員の協議会出席に要する費用

委員の協議会出席に要する旅費等の費用については、各委員が自己の責任において負担することとしているため、受託者からの支給は不要とし、委託料には含まない。

2 首都圏展示会へのブース出展と運営

道産木材製品の道外への販路拡大のため、以下2件の首都圏で開催される展示会へブース出展する。

【家具・雑貨系展示会への出展】

(1) 業務内容

道産木材製品のうち、家具や雑貨等の一般消費者向け製品の販路拡大及び HOKKAIDO WOOD ブランドの認知拡大を図るため、「ギフト・ショー2026」における「LIFE×DESIGN」へブース出展する。

(2) 実施内容

① 出展の申込み及び支払い

展示会主催者に対する、ブース出展に係る申込みは、道が本委託業務に先行して行う。出展に必要な代金については、受託者が支払うこととし、委託料に含む。申込み後において、小間位置や出展カテゴリの希望を提出できる場合については、委託者と協議の上、希望位置を提出すること。

出展小間数は2小間以上とする。出展料については1小間分を委託料に含み、2小間目以上の小間に係る出展料は出展希望者から徴することとする。

出展者から徴する出展料については、各出展者あたりの負担額を受託者が算定、委託者と協議の上決定し、受託者が各出展者から徴収し支払うこととする。

なお、各出展者あたりの負担額は、60,000円～80,000円程度となるよう算定すること。

ブース出展料については、別紙1「家具・雑貨系展示会出展資料」8ページ目のとおり、通常価格：495,000円/小間(税抜き(スタンダードプラン)、オプション預り金を含む)である。スタンダードプランには三面木工システムパネル、パラペット、社名板、折りたたみイス2脚を含まれ、オプション預り金はオプション器具及び電気工事費等に充当される。

② 出展者の募集・取りまとめなど

ア 出展対象は、HOKKAIDO WOOD メンバー(以下、「HW メンバー」という。)とし、出展を希望する企業及び出展製品等を取りまとめ、本委託業務で申し込む小間において複数の出展希望者が共同出展するものとする。委託者としてのブース出展は行わないが、HOKKAIDO WOOD や道の施策などに関するPRチラシ等の販促物をブース内で活用する場合は、委託者と協議すること。

なお、本委託事業の開始から出展申込みまでの期間が短いことから、委託者である道が先行して出展者及び製品等を募集し、契約締結後に受託者へ引き継ぐこととする。

イ 出展に当たっては、家具・雑貨など製品分類に偏りが出ないように留意すること。

ウ 出展希望者は、ブースの広さを考慮し、6者程度を上限とする。

- エ 出展希望者が多数であり、ブース内が狭隘になる恐れがある場合は、小間の追加や出展料の徴収等について委託者と協議すること。
- オ 出展希望者が展示会に参加するための旅費・交通費等及び出展希望者が出展する製品に関する輸送費等については、出展希望者自身が自己の責任において負担することとし、委託料に含まない。また、委託者が展示会会場へ赴く場合においても、その旅費・交通費等については委託者自身が別途負担することとし、委託料に含まない。
- ③ 出展ブースレイアウトの作成等
- ア 出展企業及び出展製品の決定後、ブースレイアウトを作成し、委託者と協議の上、最終レイアウトを確定させること。
- イ レイアウトの作成にあたっては、出展する製品を踏まえ、来場者への訴求効果が十分に得られるようにすること。
- また、出展者や出展製品の特性等の理解に努め、出展者の満足度向上及び出展者自身の販路拡大意識の醸成にも努めること。
- ウ ブースの装飾にあたっては、HOKKAIDO WOOD のブランドイメージや北海道らしさを表現し、ブランドの認知拡大も図ること。
- なお、令和7年度におけるブースレイアウトについては別紙2「建材系展示会ブースレイアウト参考例（過去）」のとおりであるから、参考とすること。
- エ ブースレイアウトについては、原則として小間の基本設備を有効に活用することを前提とすることとし、華美な装飾を避け、商品や出展者自身が主役となるように作成すること。基本設備及び販拓協議会が所有する什器等を有効に活用することとし、出展効果を高めるための必要最低限なもののみ、④のとおり借り上げや購入等を行うこと。
- ④ ブース装飾及び施工並びに必要な備品等の借り上げ等
- ア ブースレイアウトに基づき、出展に要する備品の借り上げや資材の制作・購入等を行うこと。ブース展示に使用する資材を制作する場合は、可能な限り今後の同様のイベントでも使用できるよう汎用的な内容・資材とすること。
- イ ブースの基本設備に関しては、別紙1「家具・雑貨系展示会出展資料」8ページ目「出展料金」及び「スタンダードプラン」のとおりであり、必要に応じて使用することができる。また、より効果的な出展となる装飾を施す場合はこの限りでは無い。
- ウ 販拓協議会が保有する HOKKAIDO WOOD のブランドイメージを表す既存什器等は別紙3「HOKKAIDO WOOD 什器等一覧」のとおりであるため、必要に応じて使用することが出来る。使用する場合は、委託者へ貸出の申請をすること（使用料は無料）。
- エ ブース装飾に使用する資材等については、搬入日までに会場へ配送することとし、その配送料については委託料に含む。
- ⑤ ノベルティの発注
- ア ブースへの集客及び HOKKAIDO WOOD ブランドの認知拡大のため、HOKKAIDO WOOD ロゴマークを活用したノベルティを制作すること。
- イ ノベルティについては、トートバッグ及び木製タグを基本とするが、出展製品と重複することのないよう留意すること。
- なお、トートバッグ及び木製タグを製作する場合のデザインについては、過去に製作したデザインを使用することができることとし、契約締結後に委託者から提供する。木製タグについては、次の製品を使用することとするが、委託者と協議をした上で変更することができる。

相富木材加工株式会社（網走郡津別町字相生 98 番地）

70mm×30mm 楕円タグ、両面レーザー印字（HOKKAIDO WOOD ロゴマーク等）、麻紐付き

ウ ノベルティの制作数は 500 程度とし、ブースへの来場者等へ配布するために使用すること。

⑥ 来場集客と告知

ア ブースへの来場者を獲得するため、集客や告知を行うこと。メインとなるターゲットは、ファミリー層を中心とした一般消費者とするが、商品バイヤーも来場することを踏まえること。

イ SNS 等を用いた集客・告知については、会期前約 3 週間程度を目安として Instagram 及び Facebook にて Meta 広告を行うこととし、セグメントについては委託者と協議の上、決定すること。その他、来場者の獲得に必要な手段を必要に応じて講じること。

⑦ 出展者との連絡調整・当日の対応・ブース運営

ア 出展にあたり必要となるシステム入力等（主催者が指定するもの）を行うこと。

イ 会場でのブース対応・運営にあたる人員を 1 名以上配置すること。来場者の動線確保や呼び込み等を行うほか、出展者とコミュニケーションを取り、ブース全体として来場者を温かく迎える雰囲気作りに努めること。

ウ 出展者においては、1 社につき 1 名をブースに配置することとし、ブース対応、商談、金銭や商品の管理等については、原則として出展者自身の責任において実施させること。

エ ブースで各出展者が得た名刺等の情報を取りまとめ、展示会終了後に来場後のフォローアップ連絡をするなど、今後の販路拡大のための対応を行うこと。

⑧ アンケートの実施・出展結果の取りまとめ

ア 来場者及び出展者へのアンケートを実施し、満足度等を含めた出展の結果を取りまとめること。

イ いずれのアンケートについても、内容については委託者と協議の上、決定すること。

【建材系展示会への出展】

（１）業務内容

道産木材製品のうち、建材等（梁・柱等の構造材や内外装材等の建材のほか、木製ドア・窓枠等の建築に必要な木製部材を含む）の設計者・建築事業者・工務店等への販路拡大及び HOKKAIDO WOOD ブランドの認知拡大を図るため、「JAPAN HOME SHOW & BUILDING SHOW 2026」における「ふるさと建材・家具見本市」へブース出展する。

（２）実施内容

① 出展の申込み及び支払い

展示会主催者に対する、ブース出展に係る申込みは、道が本委託業務に先行して行う。出展に必要な代金については、受託者が支払うこととし、委託料に含む。申込み後において、小間位置や出展カテゴリの希望を提出できる場合については、委託者と協議の上、希望位置を提出すること。

出展小間数は 3 小間以上とし、出展料については 2 小間分を委託料に含み、3 小間目以上の分は出展者から徴することとする。

出展者から徴する出展料については、各出展者あたりの負担額を受託者が算定、委託者と協議の上決定し、受託者が各出展者から徴収し支払うこととする。

なお、各出展者あたりの負担額は、60,000 円～80,000 円程度となるよう算定すること。

ブース出展料については、別紙4「建材系展示会出展資料」5ページ目のとおり、早期申込価格：380,000円/小間（税抜き）である。出展料には白色システムパネル、ブース番号板、1ブースにつき100V/300Wまでの一次側電気幹線工事を含まれる。

② 出展者の募集・取りまとめなど

ア 出展対象は、HOKKAIDO WOOD メンバー（以下、「HW メンバー」という。）とし、出展を希望する企業及び出展製品等を取りまとめ、本委託業務で申し込む小間において複数の出展希望者が共同出展するものとする。委託者としてのブース出展は行わないが、HOKKAIDO WOOD や道の施策などに関する PR チラシ等の販促物をブース内で活用する場合は、委託者と協議すること。

イ 出展に当たっては、構造材・フローリング・内外装材など製品分類に偏りが出ないように留意すること。

ウ 出展希望者は、ブースのスペースを考慮し、6者程度を上限とする。

エ 出展希望者が多数であり、ブース内が手狭になる恐れがある場合は、小間の追加について委託者と協議すること。

オ 出展希望者が展示会に参加するための旅費・交通費等及び出展希望者が出展する製品に関する輸送費等については、出展希望者自身が自己の責任において負担することとし、委託料に含まない。また、委託者が展示会会場へ赴く場合においても、その旅費・交通費等については委託者自身が別途負担することとし、委託料に含まない。

③ 出展ブースレイアウトの作成等

ア 出展企業及び出展製品の決定後、ブースレイアウトを作成し、委託者と協議の上、最終レイアウトを確定させること。

イ レイアウトの作成にあたっては、出展する製品を踏まえ、来場者への訴求効果が十分に得られるようにすること。

また、出展者や出展製品の特製等の理解に努め、出展者の満足度向上及び出展者自身の販路拡大意識の醸成にも努めること。

ウ ブースの装飾にあたっては、HOKKAIDO WOOD のブランドイメージや北海道らしさを表現し、ブランドの認知拡大も図ること。他の「木材」「木製品」ブースと視覚的な差別化をするため、木材のみで埋め尽くすような装飾は避けること。

なお、令和7年度におけるブースレイアウトについては別紙5「建材系展示会ブースレイアウト参考例（過去）」のとおりであるから、参考とすること。

④ ブース装飾及び施工並びに必要な備品等の借り上げ等

ア ブースレイアウトに基づき、出展に要する備品の借り上げや資材の制作・購入等を行うこと。ブース展示に使用する資材を制作する場合は、可能な限り今後の同様のイベントでも使用できるよう汎用的な内容・資材とすること。

イ ブースの基本設備に関しては、別紙4「建材系展示会出展資料」5ページ「出展料金」に記載の基礎ブースのとおりであり、必要に応じて使用することができる。

ウ 販拡協議会が保有する HOKKAIDO WOOD のブランドイメージを表す既存什器等は別紙3「HOKKAIDO WOOD 什器等一覧」のとおりであるため、必要に応じて使用することができる。使用する場合は、委託者へ貸出の申請をすること（使用料は無料）。

エ ブース装飾に使用する資材等については、搬入日までに会場へ配送することとし、その配送料については委託料に含む。

⑤ ノベルティの発注

ア ブースへの集客及び HOKKAIDO WOOD ブランドの認知拡大のため、HOKKAIDO

WOOD ロゴマークを活用したノベルティを制作すること。

イ ノベルティについては、トートバッグ及び木製タグを基本とするが、出展製品と重複することのないよう留意すること。

なお、トートバッグ及び木製タグを製作する場合のデザインについては、過去に製作したデザインを使用することができることとし、契約締結後に委託者から提供する。木製タグについては、次の製品を使用することとするが、委託者と協議をした上で変更することができる。

相富木材加工株式会社（網走郡津別町字相生 98 番地）

70mm×30mm 楕円タグ、両面レーザー印字（HOKKAIDO WOOD ロゴマーク等）、麻紐付き

ウ ノベルティの制作数は 500 程度とし、ブースへの来場者等へ配布すること。

⑥ 来場集客と告知

ア ブースへの来場者を獲得するため、集客や告知を行うこと。メインとなるターゲットは、建築設計士、工務店及びハウスメーカー等の建築関係事業者とする。

イ SNS 等を用いた集客・告知については、会期前約 3 週間程度を目安として Instagram 及び Facebook にて Meta 広告を行うこととし、セグメントについては委託者と協議の上、決定すること。その他、来場者の獲得に必要な手段を必要に応じて講じること。

⑦ 出展者との連絡調整・当日の対応・ブース運営

ア 出展にあたり必要となるシステム入力等（主催者が指定するもの）を行うこと

イ 会場でのブース対応・運営にあたる人員を 1 名以上配置すること。来場者の動線確保や呼び込み等を行うほか、出展者とコミュニケーションを取り、ブース全体として来場者を温かく迎える雰囲気作りに努めること。

ウ 出展者においては、1 社につき 1 名をブースに配置することとし、ブースでの商談等については、原則として出展者自身の責任において実施させること。

エ ブースで各出展者が得た名刺等の情報を取りまとめ、展示会終了後に来場後のフォローアップ連絡をするなど、今後の販路拡大のための対応を行うこと。

⑧ アンケートの実施・出展結果の取りまとめ

ア 来場者及び出展者へのアンケートを実施し、満足度等を含めた出展の結果を取りまとめること。

イ いずれのアンケートについても、内容については委託者と協議の上、決定すること。

3 ブランド戦略

(1) 業務内容

道産木材製品の販路拡大を進める上で重要となる、HOKKAIDO WOOD ブランドの認知拡大等のため、販路協議会が管理する SNS アカウント等を用いた情報発信や、一般消費者等が HOKKAIDO WOOD を身近に感じることができるよう、HOKKAIDO WOOD に関連するスポットを回遊することができるデジタルスタンプラリーを実施・運営すること。

本業務の実施にあたっては、販路協議会や道がこれまで行ってきた HOKKAIDO WOOD に関する取組などを参考にし、HOKKAIDO WOOD ブランドの認知拡大やブランドを用いた製品の販路拡大が図られるなど、ブランドそのものがより良いものになるための課題や対応策などを積極的に提案する姿勢で臨むこと。

(2) 実施内容

① SNS を活用した情報発信

ア 使用する SNS は Instagram を主とする。Facebook への投稿については、Instagram への投稿と同時に Facebook へも投稿する。

なお、必要なログイン情報等は、契約締結後に受託者へ共有するが、委託期間終了後においては、ログイン情報を破棄すること。

イ 投稿の頻度は、2 週間に 1 回（月に 2 回）以上とする。

ウ 投稿の種類は、フィード投稿またはリール投稿とし、画像素材については委託者から提供する。

エ 投稿の内容は、北海道の木材に関すること、木材製品に関すること、HOKKAIDO WOOD ロゴマークの活用事例、製品、建築物、展示会への出展情報等とし、フォロワーや閲覧者にとって有益な情報を発信すること。

オ 過去の投稿内容を参考にし、HOKKAIDO WOOD のブランドイメージを踏まえ、アカウントの世界観を踏襲すること。

カ 受託者は、アカウントのフォロワー数、投稿コンテンツのリーチ数及びエンゲージメント率などコンテンツ及びアカウントのパフォーマンスを取りまとめて月次で報告すること。報告する内容については、委託者と協議の上、決定すること。

② ホームページを活用した情報発信

ア HOKKAIDO WOOD 公式ホームページの「Topics」に毎月 1 本以上の記事を投稿すること。

なお、公式ホームページの CMS は「wordpress」を活用しており、必要なログイン情報等は契約締結後に受託者へ共有するが、委託期間終了後においては、ログイン情報を破棄すること。

イ 投稿の内容は、北海道の木材に関すること、木材製品に関すること、HOKKAIDO WOOD ロゴマークの活用事例、製品、建築物、展示会への出展情報等とし、閲覧者にとって有益な情報とすること。

また、記事の執筆にあたっては、適切なキーワードの選定及び SEO 対策を実施すること。

ウ コンテンツ戦略を構築し、ターゲット層に適切な情報が提供できるようにすること。

エ 受託者は、サイト訪問者数やユーザーの行動分析を行い、サイトのパフォーマンスを 2 か月に 1 回程度報告すること。

③ デジタルスタンプラリーの実施と運営

ア HW メンバーの拠点（工房、事務所、工場、ショップなど）及び道が登録する HOKKAIDO WOOD BUILDING 登録施設等の中からチェックポイントを選定すること。

イ チェックポイントは 30 箇所以上とし、実施期間は 3 か月以上とすること。

チェックポイントの選定にあたっては、委託者と協議の上、決定することとするが、チェックポイントの管理者等との連絡調整は、受託者が責任をもって行うこととする。

ウ エリアは北海道全域とするが、アクセスの良い場所等とし、エリアに集中させたチェックポイント設定を検討するなど、参加者の参加意欲が高まるよう考慮すること。

エ デジタルスタンプラリーシステムについては、スマートフォンで参加できるものを採用することとし、システム使用料は委託料に含むものとする。

オ スタンプの獲得方法は、原則 GPS 機能を活用した獲得方法とすること。二次元コードを活用した獲得方法を採用する場合は、二次元コードの不正対策を講じるなどし、不正利用の懸念を払拭できる場合に限り認める。

- カ デジタルスタンプラリー実施期間中は、デジタルスタンプラリーシステムの維持管理を行い、動作トラブル等が発生しないよう努め、継続して利用できるようにすること。
- キ 応募コースは、参加者の参加意欲を高め、HOKKAIDO WOOD の認知拡大という事業目的が達成できるよう、委託者と協議の上、1 種類以上設定すること。
- ク 参加者のインセンティブになるよう、デジタルスタンプラリー参加者またはコース制覇者に対し、景品を準備すること。景品は、HOKKAIDO WOOD 製品とし、景品配布の対象範囲や景品の必要数量は下記を目安とするが、委託者と協議の上、決定すること。
- なお、景品の購入及び発送に係る経費として、下記相当額を委託料に含む。
- コース制覇者向け 5 本 ツール等 20,000 円/個（税別）及び送料
- コース参加者向け 10 本 5,000 円/個（税別）相当の製品及び送料
- ケ デジタルスタンプラリー開始の 2 週間前程度を目処に、道内に向けた広報を開始することとし、スタンプラリー期間中において継続的に広報すること。想定している広報ツールについては、Instagram 及び Facebook における Meta 広告とし、総広報期間は最低 1 か月間程度とするが、その他の制度の周知に必要な施策を実施すること。

第 4 委託期間

契約締結の日から令和 9 年（2027 年）3 月 16 日（火）まで

第 5 業務処理計画

受託者は、業務を適正に執行するため、第 2 に定めた業務内容ごとの業務処理計画を別記第 1 号様式により、委託契約後速やかに提出するものとする。

また、委託業務の処理について、業務処理責任者を定め、別記第 2 号様式により通知するものとする。

なお、業務の計画に変更が生じた場合は、受託者はその都度、変更計画書を業務担当員へ提出すること。

第 6 再委託

1 再委託は原則禁止とする。ただし、必要により業務の一部を再委託しようするときは、あらかじめ次の書面を提出し委託者の承諾を得なければならない。

（1）次の事項を記載した書面

- ① 再委託の相手方の商号又は名称及び住所
- ② 再委託する業務の範囲
- ③ 再委託する理由及びその必要性
- ④ 再委託の契約金額
- ⑤ 再委託の相手方に対する業務の管理履行体制
- ⑥ 再委託の相手方の履行実績、組織体制、職員の状況

（2）再委託の相手方の法令等を遵守する旨の誓約書

2 再委託の承諾を得た場合は、受託者が再委託の相手方への管理監督を行うものとする。

3 再委託の相手方に対して道との契約書を準用した約定、契約内容や留意事項の十分な説明と理解を得るものとする。

4 再委託の相手方が第三者に委託することのないよう受託者から再委託の相手方に指導すること。

第7 実績報告書等の提出

業務を完了したときは、受託者は速やかに実績報告書、収支精算書及び成果品を提出するものとする。

- 1 実績報告書は別記第3号様式により提出するものとする。提出にあたっては、次表に示す内容を業務報告書として紙媒体（A4版）1部、電子媒体（CD-R又はDVD-R）1部にとりまとめ、令和9年（2027年）3月16日（火）までに提出すること。なお、本業務における報告書（データ）及び成果品の所有権及び著作権は委託者に帰属する。

区分	業務報告書の内容
道産木材製品販路拡大協議会の運営	協議会の開催日時、場所、参加者、議事内容等
首都圏展示会へのブース出展と運営	イベントの開催日時、出展者、出展製品、ブースレイアウト、ノベルティ、出展結果（広告・集客の結果、来場者数、出展者の満足度、来場者の満足度、HOKKAIDO WOOD ブランドの認知度等）等 ※ブースレイアウトに関する図面等、製作した資材のうち汎用的に使用できるもの、広告及び集客に活用した画像データ等は報告書に添えて提出すること。
家具・雑貨系展示会	
建材系展示会	
情報発信及び認知拡大の取組	【SNS】投稿内容・投稿日時・投稿及びアカウントのパフォーマンスなど ※投稿画像やキャプション文のデータ等は、報告書に添えて提出すること 【ホームページ】投稿内容・投稿日時・投稿及びページのパフォーマンスなど ※投稿内容に関するデータ等は、報告書に添えて提出すること 【デジタルスタンプラリー】チェックポイント、参加者数、コースの内容、コース達成者、達成者等へのノベルティ概要、参加者からの反応など
SNS を活用した情報発信	
ホームページを活用した情報発信	
デジタルスタンプラリーの実施	

- 2 収支精算書は別記第4号様式により、費目毎に収支明細を作成し、公的書類、契約書又は領収書等の写しを添付するものとする。

第8 委託料の請求

受託者は、委託者あてに委託料の支払いの請求をする際には、別記第5号様式を提出するものとする。

第9 概算払

受託者は、委託業務の処理のため、業務委託料の額の範囲内において、業務委託料の概算払を請求するときは、請求書及び別記第6号様式を提出するものとする。

第10 関係書類等の保管

受託者は、業務に係る帳簿を備え収入支出額を記載するとともに、契約書及び領収書等の証拠書類等を整理し、5年間保管するものとする。

第 11 個人情報取扱い

本業務で取り扱う個人情報は、個人情報保護法、北海道個人情報保護条例及び事業者が個人情報を取り扱う際に遵守すべき指針等の個人情報保護制度に基づき、適正に取り扱うこと。

第 12 留意事項

- 1 委託期間中の現地調査等、業務の処理状況等に関する報告及び収支精算書の提出の際には、出勤簿等の写し、経費の支払に係る銀行等の振込受取書の写し、振込受付書の写し、インターネットバンキングの画面の写し及び領収書の写し等の支払証拠書類並びに請求書の写し及び契約書の写し等の支払の原因となった書類等を提出すること。
- 2 委託業務に関する帳簿及び書類を備え、当該委託業務に要した経費とそれ以外の経費を区別することができるようこれを整理すること。
- 3 道の業務に要したことが確認できない経費がある場合は、当該経費を除いた上で委託料の額が確定すること。

第 13 その他

受託者は業務の遂行にあたっては、関連法令を遵守し、次の点に留意の上、委託者と十分に協議・連絡を取り合って進めるものとする。

- 1 業務の実施にあたり、受託者は自己所有以外の施設、設備等を使用する場合は、各所有者が定める規定等を遵守すること。
- 2 本業務のために実施した打合せ内容については、受託者が打合せ記録を作成し、委託者に提出すること。
- 3 委託者は受託者に対し、必要に応じて実施状況や支出状況等について、報告を求めることができるものとする。
- 4 契約履行過程で生じた成果物が著作物に該当する場合には、当該著作権（著作権法第 27 条及び第 28 条の権利を含む）は、委託者に帰属する。

なお、受託者は、委託者及び第三者に対し、本件成果物に関して発生した著作権者人格権を行使しないものとする。ただし、委託者に帰属することができない適切な理由がある場合で、事前に委託者の承諾を得たときはこの限りでない。この場合、委託者は当該許諾条件の範囲内で使用権を有するものとする。

- 5 受託者は、業務の成果を公表しようとする場合は、事前に内容について委託者に通知することとする。ただし、その成果を公表することが委託者の不利益となる場合については、委託者の申出により公表を行わないことができるものとする。

成果の公表に際しては、特段の理由がある場合を除き、その内容が本業務の結果得られたものであることを明示すること。

- 6 業務実施にあたり、この要領に定めのない事項や業務処理について疑義等が発生したときには、委託者と受託者とが協議により定め、適切に遂行するものとする。

別記第1号様式

業 務 処 理 計 画 書

年 月 日

北海道知事 鈴木 直道 様

住 所
受託者
氏 名

業務名 令和8年度（2026年度）HOKKAIDO WOOD 販路拡大事業委託業務

年 月 日付けで契約した上記の業務について次のとおり実施します。

記

1 業務スケジュール

業 務 内 容	月	月	月	月	月	月	月

※必要に応じて項目を修正すること。

2 業務処理体制

担 当 業 務	職 名	氏 名

業務処理責任者等選定（変更）通知書

年 月 日

北海道知事 鈴木 直道 様

住所

受託者

氏名

業務名 令和 8 年度（2026 年度）HOKKAIDO WOOD 販路拡大事業委託業務

年 月 日付けで契約した上記の業務に係る業務処理責任者を次のとおり

選定（変更）しましたので通知します。

職	氏 名	備 考

実 績 報 告 書

年 月 日

北海道知事 鈴木 直道 様

住所

受託者

氏名

業務名 令和8年度（2026年度）HOKKAIDO WOOD 販路拡大事業委託業務

年 月 日付けで契約した上記の業務について完了したので、報告します。

記

1 業務完了年月日 年 月 日

2 成果品

3 その他

委託業務により生じた著作権等一切の権利を引き渡します。

収 支 精 算 書

年 月 日

北海道知事 鈴木 直道 様

住所

受託者

氏名

業務名 令和 8 年度（2026 年度）HOKKAIDO WOOD 販路拡大事業委託業務

(単位 円)

区 分			収 入	支 出				
			委託金額	単価	数量	呼称	金 額	摘要
直接人件費								
直接経費	経常的 直接経費							
		計						
	特別 直接経費							
		計						
	小計							
	諸経費							
合計								
消費税及び地方消費税 相当額								
総 計								

- 注) 1 「直接人件費」欄は、当該業務に従事した調査・研究員の日額単価別に1欄を使用して記載すること。
- 2 「直接経費」欄は、適宜科目を設け、科目ごとに1欄を使用して記載すること。
- 3 外部委員会に要した経費、再委託経費及び外注に要した経費等第三者に支払われた経費については、直接経費中「特別直接経費」欄にそれぞれ適宜科目を設けて記載すること。
- 4 金額の内訳を「摘要」に記載すること。特に、外部委員会に要した経費、再委託経費及び外注等の経費については、その内容が明らかになるように記載すること。

委 託 料 請 求 書

年 月 日

北海道知事 鈴木 直道 様

住 所

受託者

氏 名

業務名 令和 8 年度（2026 年度）HOKKAIDO WOOD 販路拡大事業委託業務

年 月 日付けで契約した上記業務の委託契約書第 12 条第 1 項の規定に基づき、次のとおり委託料の支払を請求します。

記

- 1 契約金額 円
- 2 受領済額 円
- 3 今回請求額 円
- 4 振込先
- (1) 金融機関名
- (2) 預金種別
- (3) 口座番号
- (4) 口座名義人（カナ）

※この欄は、押印を省略する場合に記載してください

	氏 名	連絡先
本件責任者		
担当者		

別記第 6 号様式

年 月 日

北海道知事 鈴木 直道 様

(受託者)

年 月 日付けで締結した令和 8 年度（2026 年度）HOKKAIDO WOOD 販路拡

大事業委託業務契約書第 14 条第 1 項に基づき、別紙のとおり収支計画書を提出します